

畜舎のハエ対策をしましょう！

ハエ類は畜産現場でよくみられる害虫であり、生産性低下の原因になります。8月は若干減少するものの、9～10月に再び増加するとされています。ハエが増える前に対策を実施し、快適で衛生的な畜舎環境を整えましょう。

ハエによる被害 大量発生すると様々な弊害があります！ 

呼吸器病の増加・畜舎の劣化

ハエ幼虫が家畜の糞便を液状化するとアンモニアが発生するため、呼吸器が炎症を起こしたり、金属の腐食により畜舎が劣化しやすくなります。

増体・乳量の低下

ハエが飛び回ったりサシバエが吸血したりすることで家畜にストレスがかかり、増体・乳量が低下してしまいます。

病原体の伝播

イエバエはサルモネラや大腸菌を、サシバエは牛伝染性リンパ腫ウイルス等の病原体を媒介するため、感染症のリスクが高くなります。

ハエの駆除方法 1～3を組み合わせると効果が高まります！

1 発生源をなくす

幼虫の主な発生源は、**家畜の糞便や飼料の食べ残し**です。これらを速やかに除去し、さらに糞便は乾燥・発酵させます。

2 物理的に駆除する

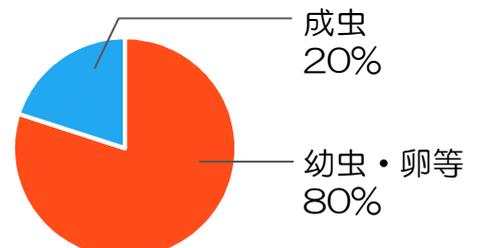
ハエ取り紙、電撃殺虫器等も設置すると効果が高まります。

3 殺虫剤を使用する

(1) 幼虫の駆除

幼虫が生育する場所（バークリナー、畜舎の壁際、堆肥舎等）に昆虫成長抑制剤（IGR剤）を定期的に散布します。薬剤を十分に浸透させるために、**霧状での散布は避けましょう。**

卵・幼虫・蛹は成虫の約4倍存在するため、幼虫を駆除すると成虫の発生を効率よく抑えることができます。

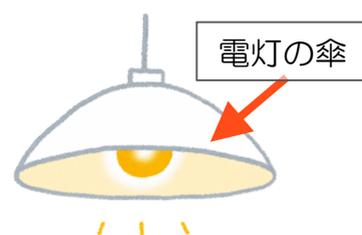
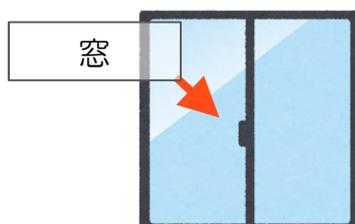
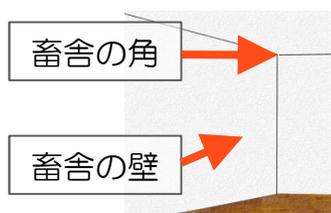


(2) 成虫の駆除

成虫はベイト剤（殺虫成分入りの餌）で駆除します。ハエがよく集まる場所への設置・塗布がポイントです。

ハエがよく集まる場所

- ・風のない場所：畜舎の角、壁の近く
- ・温暖な場所：畜舎内の日が当たる場所
- ・茶色や黒色の点（ハエの糞や唾液）が付いている場所：天井、窓、電灯の傘



(3) 成虫の駆除（薬剤の直接散布）

成虫が大量発生した場合は、一時的に成虫の数を減らすため空中散布剤を使用します。ハエが薬剤への抵抗性を持つこともあるため、**多用せずに違う系統の薬剤をローテーションで使用しましょう。**

効果的な方法

- ・壁や柱などに向けて散布する
- ・ライトでハエを集める
- ・朝や夕方の気温が低い時間帯に散布する（ピレスロイド系殺虫剤は高温時に効果が低下します）



薬剤が畜体や飼料にかからないように注意しましょう！

（ポジティブリスト制度における基準値を超えて残留するおそれがあるため）

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

| 病名 | 型 | 発生地（国） | 畜種 | 発生年月日 |
|----------------------------|------|--------|--------------|-----------|
| 高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI) | H5N1 | ネパール | 家きん | 令和5年6月3日 |
| | | ロシア | 家きん | 令和5年6月30日 |
| | | 台湾 | 家きん（3件） | 令和5年7月 |
| アフリカ豚熱 | | 韓国 | 豚 | 令和5年7月18日 |
| | | | 野生いのしし（119件） | 令和5年5月～7月 |

令和5年(2023年)7月31日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう！

